

2 経緯・理由
<p>欧州プロサッカーのトップクラブであるFCバルセロナが、サッカーの普及とサッカーを通じた青少年への教育を目的として、日本におけるオフィシャルスクール開校の意向を持っていることを受け、数年前から青少年育成四つ木地区委員会の委員や四つ木中学校の教師などが中心となって、オフィシャルスクールの誘致活動を進めてきた。</p> <p>区においても、世界的にも有名なトップクラブのオフィシャルスクール（以下「スクール」という。）開校は有意義であると考え、様々な検討を進めてきたところである。</p> <p>このたび、「プロサッカークラブ オフィシャルスクールの葛飾区開校を進める会」から、区長あてに「支援のお願い」が提出された。</p> <p>これを受け、正式にFCバルセロナオフィシャルサッカースクールの葛飾区での開校を推薦すると同時に、スクールが拠点とするグラウンドの確保など、スクール開校に向けた準備を進めるものである。</p>
3 付議書（案）
別添のとおり
4 庁議日程
平成23年8月23日（火） 第22回調整会議
平成23年8月25日（木） 第22回庁議
5 付議根拠
葛飾区庁議等の設置及び運営に関する規則第5条第3項第3号

(案)

庁議付議事案 (第 号)

平成23年 8月23日

政策経営部長

「葛飾区庁議等の設置及び運営に関する規則」第6条の規定に基づき、別添資料を添えて、
庁議に付議要求いたします。

件名	FCバルセロナ オフィシャルサッカースクールの葛飾区開校について		
要旨	<p>1 経緯</p> <p>欧州プロサッカーのトップクラブであるFCバルセロナが、サッカーの普及とサッカーを通じた少年少女への教育を目的として、日本におけるオフィシャルスクール開校の意向を持っていることを受け、数年前から青少年育成四つ木地区委員会の委員や四つ木中学校の教師などが中心となって、オフィシャルスクールの誘致活動を進めてきた。</p> <p>区においても、世界的にも有名なトップクラブのオフィシャルスクール（以下「スクール」という。）開校は有意義であると考え、様々な検討を進めてきたところである。</p> <p>このたび、「プロサッカークラブ オフィシャルスクールの葛飾区開校を進める会」から、区長あてに「支援のお願い」が提出された。</p> <p>これを受け、正式にFCバルセロナオフィシャルサッカースクールの葛飾区での開校を推薦すると同時に、スクールが拠点とするグラウンドの確保など、スクール開校に向けた準備を進めるものである。</p> <p>2 概要</p> <p>別添資料のとおり</p> <p>(政策経営部課長説明)</p>		
事項	決定事項	<u>報告事項</u>	(付議根拠第5条第3項第3号)
添付資料	FCバルセロナ オフィシャルサッカースクールの葛飾区開校について		
調整会議	(日程) (調整内容)	平成23年 8月23日	第22回調整会議
庁議	(日程) (庁議結果)	平成23年 8月25日	第22回庁議

FCバルセロナ オフィシャルサッカー学校の葛飾区開校について

1. 経緯

欧州プロサッカーのトップクラブであるFCバルセロナが、サッカーの普及とサッカーを通じた少年少女への教育を目的として、日本におけるオフィシャルスクール開校の意向を持っていることを受け、数年前から青少年育成四つ木地区委員会の委員や四つ木中学校の教師などが中心となって、オフィシャルスクールの誘致活動を進めてきた。

区においても、世界的にも有名なトップクラブのオフィシャルスクール（以下「スクール」という。）開校は有意義であると考え、様々な検討を進めてきたところである。

このたび、「プロサッカークラブ オフィシャルスクールの葛飾区開校を進める会」から、区長あてに「支援のお願い」が提出された。

これを受け、正式にFCバルセロナオフィシャルサッカー学校の葛飾区での開校を推薦すると同時に、スクールが拠点とするグラウンドの確保など、スクール開校に向けた準備を進めるものである。

2. FCバルセロナ オフィシャルスクールを葛飾区で開校するメリット

- (1) FCバルセロナは、欧州の強豪クラブチームであり、知名度も高く、オフィシャルスクールとしての価値が高い。
- (2) スペイン現地では、スクール出身者がFCバルセロナの育成部門へ昇格することもあり、サッカーをしている子ども達にとっては夢が広がる。
- (3) 世界トップクラブのオフィシャルスクールの開校は、現基本計画に掲げる「文化とスポーツのまち構想」にも合致する。
- (4) 既に開校している福岡の例によると、FCバルセロナの持つ指導ノウハウの提供をスクール生徒だけでなく、地域のサッカーチーム指導者などにも提供しており、幅広い波及効果も期待できる。
- (5) 葛飾区四つ木出身の漫画家、高橋陽一氏原作の「キャプテン翼」の主人公がFCバルセロナの選手であることもあり、今後、「キャプテン翼」を資源として集英社との新たな連携も期待できる。

3. 葛飾区への支援要請の内容

夜間スクールを週4日程度行うことができるグラウンドと付帯設備の確保

4. スクールの拠点となるグラウンド

スクールが拠点とするグラウンドは、週4日程度の夜間、継続して使用する必要があり、既に多くの区民が使用している総合スポーツセンター陸上競

技場などを活用することは難しい。

一方、今般新設された東金町運動場多目的広場における夜間の利用時間拡充等について、現在検討を進めているところであることから、東金町運動場多目的広場をスクールの拠点の候補地としてスクール開校の準備を進める。

今後、夜間照明設備等の設置について、東京都と協議する。

5. スクールの運営組織等

スクールは、現在、誘致活動を進めている四つ木地区の区民が中心となって一般財団法人を設立し運営する予定である。

対象者は、小学校1年生から6年生までの少年少女、定員は360人程度を予定し、また、スクール入校には既に所属しているチームの了解を必要とするなど、地域のクラブチームとの共存を目指すとしている。

スクールの運営は、入学費や月謝等による独立採算を原則とし、自治体に対しては、拠点となるグラウンドの確保等を求めている。

6. 今後の予定

- (1) 平成23年6月 スクールの運営予定団体から区への要望
- (2) 関係者への情報提供・協議
- (3) 7月 FCバルセロナに対し区長からの推薦書送付
- (4) 9月 FCバルセロナから回答
- (5) 夜間照明設備工事費等補正予算提案
- (6) 11月 夜間照明整備工事着工
- (7) 12月 スクール開校記者発表
- (8) 平成24年4月 スクール開校

7. 補正予算額（第二次補正予算）

- | | | |
|---------------|---------------------|-------------------|
| (1) ベンチ等購入費 | 4,750 千円 | |
| (2) クラブハウス借上料 | 0 千円（債務負担行為設定） | H24-H28 60,601 千円 |
| (3) 照明灯設置等工事費 | 92,100 千円（債務負担行為設定） | H24 138,300 千円 |
| (4) 地盤調査委託等経費 | 8,561 千円 | |

《添付資料》

○区長からFCバルセロナ関係者への推薦状

○東金町運動場多目的広場平面図

○FCB Escola 福岡パンフレット（写）

FC バルセロナ
オフィシャルスクール関係者各位

FC バルセロナオフィシャルスクールあて東金町運動場の使用承認について

FC バルセロナオフィシャルスクールが、2012年4月から葛飾区東金町運動場の施設を使用することを承認します。

葛飾区は、日本の首都東京の中でも水と緑豊かな地域です。東金町運動場も都内有数の自然公園である水元公園に立地しており、少年野球場やテニスコート、サッカー場などがあり、子ども達がスポーツをするには最適な環境にあります。現在、この利用環境をさらに向上させるための準備を進めています。

また、葛飾区は、“キャプテン翼”の原作者、高橋陽一氏の出身地であり、すなわち“キャプテン翼”のふるさとでもあります。将来、本物の“翼”がふるさと葛飾から誕生することを楽しみにしており、区をあげてオフィシャルスクールの開校を歓迎します。

葛飾区を代表して、“FCBEScola”の葛飾区内での開校を目指している“財団法人キッズチャレンジ未来”（代表：秋元雅義氏）を心より推薦いたします。“キッズチャレンジ未来”は、青少年の健全育成を願う葛飾区民が力を結集して設立する団体であり、必ずやサッカーを通じて少年少女の育成を行っている“FCBEScola”の貴重な一員となることでしょう。

FC バルセロナからの良い返事をお待ちしています。

2011年7月29日

葛飾区長 青木 克徳